

【鏡野町教育委員会】

校務D X計画

鏡野町では、G I G Aスクール構想に基づき、令和2年度からI C T環境の整備を進めてきました。しかしながら、教育現場では業務の複雑化や負担増加といった課題が依然として存在しており、効率的な校務運営が求められています。

これらの課題を解決するため、本市町村では教職員の働き方改革の一環として、校務のデジタルトランスフォーメーション（D X）を推進し、業務の効率化や負担軽減に向けた次の具体的な取り組みを進めることとします。

鏡野町次世代の校務D X 実現のため、次の対策を実施していく。

1 クラウドツールの活用推進

- ・校内のI C T機器及びネットワーク環境整備を進める。
- ・押印規定の見直しや、F A Xから電子メールやクラウドストレージ利用へ積極的に移行し、ペーパーレス化を推進する。
- ・クラウドツールを活用し、一斉配信サービスでお便りや配布物をペーパーレス化し、保護者の負担軽減と情報共有の効率化を図る。

2 ネットワーク環境の整備について

- ・学校内のネットワーク環境については普通教室、特別教室、体育館、運動場等、すべての学習場所で必要な通信速度を確保できており、今後も必要かつ安定したネットワーク環境を維持する。
- ・持ち帰り学習のための環境格差を是正するため、貸出用W I - F I ルータを活用するなど、更なるタブレットの持ち帰り学習の推進を図る。

3 保護者との情報共有の円滑化

- ・令和5年度より、保護者連絡ツール「T e t o r u（テトル）」を導入し、オンラインによる資料配布、出欠連絡を実施し、保護者の負担軽減と情報共有の効率化を図っている。

4 校務支援システムの更新（令和6年度より検討開始）

- ・現在オンプレミスで運用している校務支援システムのクラウド化を検討し、校務に係る事務の省力化を進める。
- ・校務支援システムへの名簿データ取込みなど、データ管理の効率化を図り、手入力作業が必要な事務の減少に努める。
- ・文部科学省が推進するゼロトラスト化の実現のため、ネットワーク構成や認証システムの選定等、必要な措置について検討を進める。